

# 意識障害のある1型呼吸不全に対するNPPVの使用についての検討

神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科

○古郷 摩利子 永田 一真 伊藤 宗洋 中川 嘉宏 伊藤 次郎 佐藤 悠城 寺岡 俊輔  
加藤 了資 清水 亮子 藤本 大智 中川 淳 大塚 浩二郎 富井 啓介

## 【背景】

意識障害のある患者において、NPPVの使用は禁忌とされている。一方で2型呼吸不全では、意識障害がある患者でもNPPVの失敗率はかわらないなど、意識障害を有する患者のNPPVの安全性、有効性についての報告はある。しかし、1型呼吸不全において検討したものはなく、今回1型呼吸不全における意識障害とNPPV失敗の関連の有無を検討した。

## 【方法】

2013年1月から2015年6月までに当院救急外来に新規の発症した急性1型呼吸不全で受診し、NIVを使用した患者を後ろ向きに解析し、意識障害のない群と意識障害ある群とを比較し、NIV失敗との関連を検討した。

## 【結果】

NIV使用患者全148人中意識障害のない群が82人、意識障害のある群が66人であった。意識障害がある群で、年齢、APACHEII Scoreは高かったが(中央値(四部値) 75 (65-82) vs 78 (70-84)  $p=0.02$ 、18 (13-22) vs 19 (17-23)  $p=0.02$ )、各群でNIV失敗率、院内死亡率に差は見られなかった(20人 (24%) vs 20 (30)  $p=0.42$ 、11 (13) vs 13 (16)  $p=0.3$ )。多変量解析ではP/F比のみNIV失敗と関連し( $p<0.01$ )、意識障害との関連はなかった( $p=0.86$ )。疾患別に比較しても有意差はみられなかった。

## 【結語】

NIVが意識障害のある患者でも安全に使用できることが示唆された。注意深く、モニターできる環境下であれば有効にNIVを使用できる可能性がある。